

日機連かわら版

第206号

2023年1月24日(火)



目次

■かわら版・歳事記 ……「去年今年」～年末年始の身辺雑感～

■事務局便り ……「はじめまして」

(一社)日本機械工業連合会

常務理事 兼 大阪事務所長 藤下 康

■お知らせ

かわら版バックナンバー

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

<http://www.jmf.or.jp/> (禁無断転載)

かわら版・歳事記

去年今年

～年末年始の身辺雑感～

去年今年是「こそことし」と読み、たちまちに年去り年来る、その推移の速やかな感じを現した言葉で俳句の新年の季語にもなっている。

昨年末頃から新年初めに掛けての身辺雑事を取り上げた。筆者の身辺は重要な事項は全くなく雑事ばかりで、雑事を取り上げるには事欠かないので、取りあえず 2～3 にとどめた次第である。

◆追突事故に遭う

12 月初めの事であるが、交差点で信号待ちをしていて追突された。金曜日の夕方で交通は混雑しており、追突の衝撃はかなり大きく、筆者も同乗の家人もかなりの衝撃を感じた。

車を止めて後部を見ると、衝撃の割には、全く損傷の跡はみえない。乗っていた我々もとくに怪我や体の痛みもない。追突した相手も直ぐ降りてきたが、相手の車はワゴン車で前部のバンパーが若干へこんで上向きに反っていた程度で、特に問題にする様子もなかった。

お互いに納得の上、引き上げようとしたところ、じっと家の車を見ていた相手が、突然、「よく見てください。お宅の車、バンパーがへこんでいますよ」、と言う。

言われてよ～く見ると確かに僅かにへこんでいる。ちょっと見には分からない。相手の運転者は良い人？で、自分から直ぐ近くにある警察署に走って行き、パトカーを呼んできてくれた。

取りあえず交差点脇のコンビニの駐車場に車を入れさせてもらい、警察官が双方の免許証、車検証などを調べ、追突した方の全面的な責任ということになった。

◆車の素材の変化に驚く

相手側は空調工事の作業車で、全額先方の保険で払うとのことで決着した。

ここで一つ感じたことは、今まで 3 回ほど追突や駐車場で当て逃げされたり、自損事故も起こしたりしたが、いずれも修理は板金加工・修理であった。

今回も同様と考え、ディーラーに行ったところ、後部バンパーなどの周辺部分は現在では鋼板ではなく全て樹脂製で、特にバンパーは最近では PP(ポリプロピレン)製という。

また、バンパーのみならず、後部部分のトランク回りの修理となると、全部一括外して新しいものに取り替えるとのことである。

簡単ではあるが、金額もかなり掛かる様な具合で、最近の修理状況に驚いた次第である。

◆笑いの絶えない和やかな新年句会

正月早々に新年の句会があった。今回は同じ結社の開催曜日の違う 2 つの句会が合同で句会を開き、句会終了後新年会を行うことになった。

筆者は昨年 10 月にこの句会に 35 年ぶりに再入会したので、両句会にとって新参者である。筆者が初めて入会した頃は 2 代前の主宰の時代で、その当時の主宰を初め幹部の方々はほとんど変わってしまっている。

現在の主宰は筆者が入会した当時既に入会していたそうであるが、句会の曜日が違ったため、会うことはなかった。しかし、当時の主宰や幹部と面識があったことなどから今回の入会でも大変歓迎された。

当日の句会の兼題(予め出された題)は新年にふさわしく縁起の良い「伊勢海老」。傍題(兼題に関連した題)で「飾り海老」、「鎌倉海老」なども可である。



広重 魚尽(伊勢海老・芝えび) 国会図書館デジタルコレクション

この兼題は筆者のように駆け出しの者にとっては非常に難しい。伊勢海老そのものを詠むしかなく、つまらない句になってしまう。

ところが 10 年以上やっている連中は伊勢海老から発想を飛ばし、伊勢海老を赤備えの戦国武田の騎馬武者や徳川四天王の井伊の赤備えに喩え、果てはバルタン星人に喩えた句まで現れその発想の妙に笑いが絶えない句会となった。

句会は毎回中央区京橋で行われ、句会終了後の新年会は近くの馴染みの日本料理屋となっているらしい。

◆久し振りの新年会

午後 1 時から始まった句会は 4 時に終了した。午後 4 時半までに新年会の会場に会場すれば割引価格になるということで、句会の会場から 2 ブロック先の会場へ、全員張り切って急行した。

その日はまだ松の内の土曜日で、場所は日本橋ということで寒いながらも人通りも多く、正月らしく華やかな賑わいもあり、その日の宴会の楽しさを約束する様な雰囲気であった。

このような新年会あるいは大人数での飲み会は、勤め先・友人などに限らず、少なくとも 2019 年以来初めてのことである。2 つの句会の合同といっても、重複して 2 つの句会に入っている人もいたので人数は手頃の 18 人である。俳句の会であるので、当然出席者は年配者が多く、一番若い人で 60 代半ば、最高齢は 80 代前半で、男性 7 名、女性 11 名である。

宴会は 2 時間半ほど続き、先の句会の感想や宴席近くのひととの近況報告や趣味、健康法や日頃の運動などが話題となった。筆者には 35 年前の当時の句会や主宰の様子、その当時の句会終了後の飲み会などに関心が深かった。

◆今年の初詣

毎年初詣には行っているが、やはり実家のある静岡県の神社に行くことがこれまで多かった。

ことは恵方(歳徳神 = 正月の神のいる方角)が南南東(やや微南)で、たまたま筆者の住んでいる町の氏神(鎮守の神)神社の方角に一致するので、元旦の早朝に参拝に行った。

元日の午前零時前から初詣の客は本殿に通じる数十段の階段に下から列を作って並んでいるが、午前 8 時近くになると、元旦朝の初詣は取りあえず一段落し、人も少なくなっている。



町の鎮守 布川神社

お賽銭を上げ参拝が終わると社務所の前の臨時のテント小屋で甘酒をいただける。体が温まりお屠蘇で軽い酔いが更にいい心持ちになる。境内で知り合いに新年の挨拶をするのも清々しく、天気も良く実に爽快感を感じた。



布川神社 本殿

◆家に来る野鳥のこと

我が家の庭には小鳥の喜びそうな実や花のなる樹を植えている。晩秋から冬にかけて餌が少なくなり、木の実や花の蜜を吸いにやって来る。

庭には赤い実の成るナンテン、マンリョウ、センリョウなどがあり、年末に掛けてはサザンカの花が咲いていて、さらに食パンの切れ端、リンゴなどを残った都度バードバス(鳥の水飲み場)の近くに置いてやる。



バードバス (水浴び中のスズメとメジロ)

これらを求めてヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、キジバト、メジロなどがやって来る。中でも一番用心深いのはヒヨドリで、人影が窓にチョット映っても、ピーッと甲高い鳴き声をだして逃げていく。その反対に人が近づいてもなかなか逃げないのがキジバトだ。

12 月には例年チャッチャッと笛鳴きをしながらやって来るウグイスは、毎年楽しみにしているが、今年はまだ来ていない。気候のせいかな、それとも別の原因か気に掛かるところである。

(猫じゃらし)

事務局便り

～はじめて～

一般社団法人

日本機械工業連合会

常務理事 兼 大阪事務所長

ふじ した やすし
藤 下 康



◆Q1：主に携わってきた仕事

経済産業省近畿経済産業局で主に携わった業務は地域振興政策です。具体的には「工業再配置政策」、「テクノポリス法」、「工場立地法」、「産業集積活性化法」、「産業クラスター計画」、「工場立地促進法」、「地域ブランド戦略」などの業務に従事しました。

また、組織統括部門(総務、人事、秘書、会計)ならびにエネルギー、通商関連業務も経験しました。

◆Q2：思い出深い仕事

中でも印象に残っているのが「産業クラスター計画」に携わったことです。

産業クラスター計画とは地域の持続的な成長を促すため、産学官を含めた地域の資源を活かし、イノベーションを生み出していく仕組みで、近畿地域における「ものづくりクラスター」をゼロから立ち上げる部署の総括係長として従事しました。

広域的なネットワークを構築し、地域の強みを活かした新産業・新事業を創出するために欠かせないのが、できるだけ多くの企業、大学、支援機関、金融機関の連携でした。まずは、産学官の主だったところへ訪問し、施策の趣旨を局内外に理解して頂く活動から着手しました。

参加を募り、活動を企画し、実行するという、気が遠くなるような毎日でしたが、当時の同僚とともに、粘り強く踏み張り、ネットワーク形成に至りました。

約20年前になりますが、同じ部署で苦楽を共にしたメンバーとは今でも時折、当時の経験を肴にしながら飲んでいます。

ほかにも、大変なタスクを頂戴した業務は多数ありますが、その都度、同僚や周辺の方々に助けられたことは良き思い出として残っています。

◆Q3：注視している世界の動き

世界秩序を揺るがす行為を行う大国の行方と世界に及ぼす影響。これからの世界秩序。

◆Q4：最近、関心のあること

個人の人生観の変革や働くことに対しての価値観の多様化など、個人と組織の関係が大きく揺らぎつつあるなかで、企業経営はどのようなものか、ひいては、日本の経済成長はあり得るのか、ということに関心があります。

結局は生きるのも、働くことも人が行う行為なので、人間同士の繋がりがカギを握るのでは、と思っているのですが・・・。

◆Q5：好きな歴史上の人物

大好きな人物はディエゴ・アルマンド・マラドーナです。

貧しい出自でありながら、その才能と努力と強い意志によりサッカー界で一番になった人で、世界中の人から愛される一方で、憎まれもした稀有な人生を歩みました。

最高に楽しかった時もあれば、最高に苦しみぬいた時期もあったと想像できます。

◆Q6：信条・好きな言葉

「史上最強の捨て石」

人生どうにもならなくなった時、ある人に「こうなれ」と言われました。

「史上最強になれば、捨て石でも捨てられへんやろ」

それ以来、他人が見てうまくいきそうにもない仕事ほど最強への道だと思い、こなしてきたつもりですが、まだまだ最強には程遠いと感じます。

◆Q7：趣味、健康維持のためにやっていることなど

週に一度、スポーツクラブに行き、トレッドミルの上で走ると共に、マシントレーニングも少しだけ行っています。

もともと草サッカーを趣味としていたのですが、病(小脳梗塞)を発症した時からサッカーを続けることを断念し、せつせと屋内を走っています。

当初はサッカーに復帰することを念頭にトレーニングを行っていたのですが、現在は家内の監視の下、倒れない程度に行っています。

趣味は、週に3試合ほどヨーロッパのサッカーをテレビ観戦することです。試合によっては、出来のいい映画や芝居よりもはるかに感動するものもあり、見逃すことはできません。

◆Q8：これから先、チャレンジしてみたいこと

折角、日本人に生まれてきたので、四季がきちんと存在する日本の風景をじっくりと体感してみたいです(これまでそのような心の余裕がありませんでした)。

具体的には、風景画を描いてみたいと考えています。どなたかいい方法があればご教示ください。

◆Q9：日機連・大阪事務所の取組みなど

日機連大阪事務所では、関西事業活力研究委員会をはじめとする定例の委員会、部会を運営し、それぞれで会員のニーズに応じた講演会、視察会、交流会等を企画しております。

なお一層、会員の皆様のニーズにこたえられるよう、所員一丸となり取り組んでまいります。

また、大阪機械広報懇話会の事務局として、大阪機械記者クラブへの記者発表の支援も行っておりますので、今後プレス発表等広報活動の強化をご検討の皆様におかれましては、一度当事務所にご相談ください。

◆Q10:抱負

過去の職務の経験で得たものとして、「ものづくり」の発展なくして、日本経済の発展はないと強く感じています。そういう意味からも、日機連で働き、日本の機械工業の発展のためにお役に立ちたいと思っております。

また、企業活動に地域の垣根はありませんが、逆に地域にとって企業の存在は非常に大きなものだと感じております。

日機連は会員様のニーズにお応えすることが最重要課題です。その中で、関西地域の活性化の一翼を担う大阪事務所は、会員の皆様とより一層連携していくことができればと存じます。

お知らせ

◆表紙の写真

カワセミ(翡翠)

千葉県我孫子市 (2022 年 1 月撮影)



撮影 渡邊 俊文さん

(元日本精密測定機器工業会 専務理事)

◆ご意見募集

日機連では、今後の活動の参考にさせて頂くために、会員の皆様からのご意見、ご要望をお待ち致しております。

また、「日機連・かわら版」に対するご質問、ご意見や日機連の活動に係る全般的なご意見、ご要望など下記までメールをお送り頂ければ幸いです。

メールアドレス koho@jmf.or.jp